PSW-1012A(09101)

施工説明書

INAX

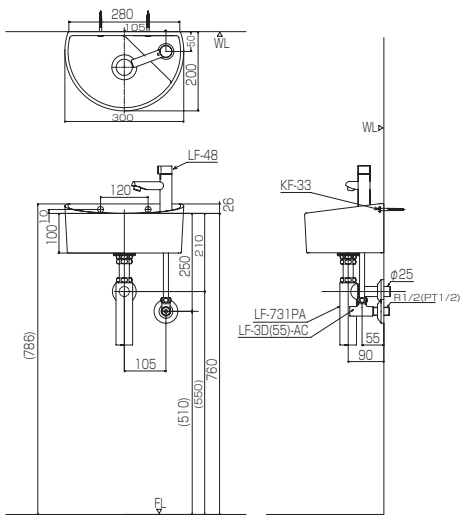
手洗器

(G)AWL-33(B)
(G)AWL-33(BS), (G)AWL-33(BS)-S
(G)AWL-33(P), (G)AWL-33(P)-S
(G)AWL-33(S), (G)AWL-33(S)-S
(G)L-A35HA, (G)L-A35HB
(G)L-A35HC, (G)L-A35HD
(G)L-A35HG, (G)L-A35HH
(G)L-A35HP, (G)L-A35HQ

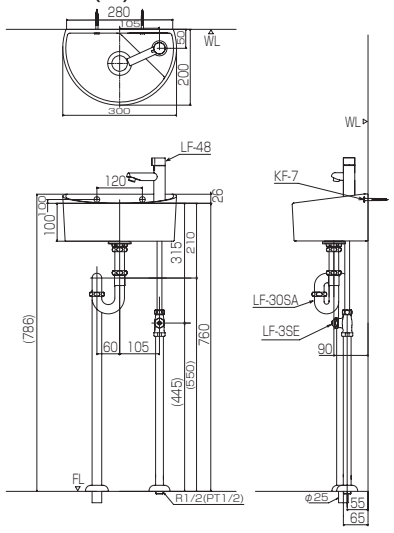
商品の機能が 100%発揮されるよう、
本説明書の内容を十分ご理解のうえ
正しく施工してください。
なお、同封の「取扱説明書」は
施工完了後、お客さまにお渡しください。

●施工完了図

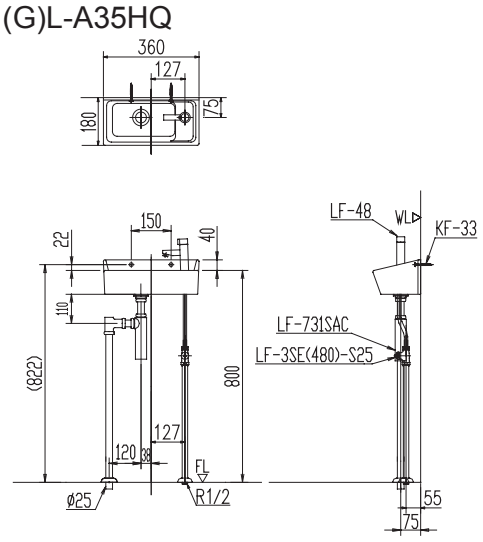
〔ボトル P トラップ仕様の場合〕
(G)AWL-33(B)



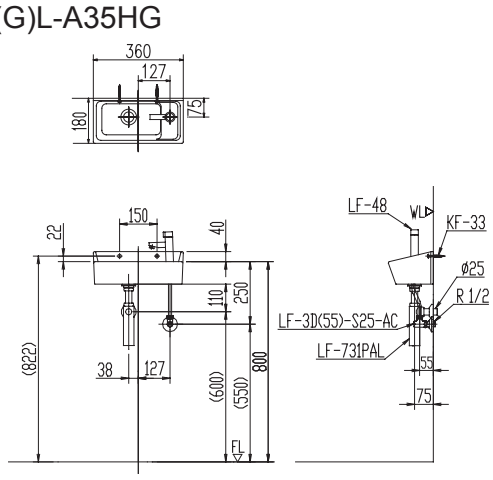
〔S トラップ仕様の場合〕
(G)AWL-33(S)-S



〔床ボトルトラップ仕様の場合〕
(G)L-A35HQ



〔壁ボトルトラップ仕様の場合〕
(G)L-A35HG



※（ ）内寸法は、手洗器あふれ縁高さ (760) を基準にした参考寸法。

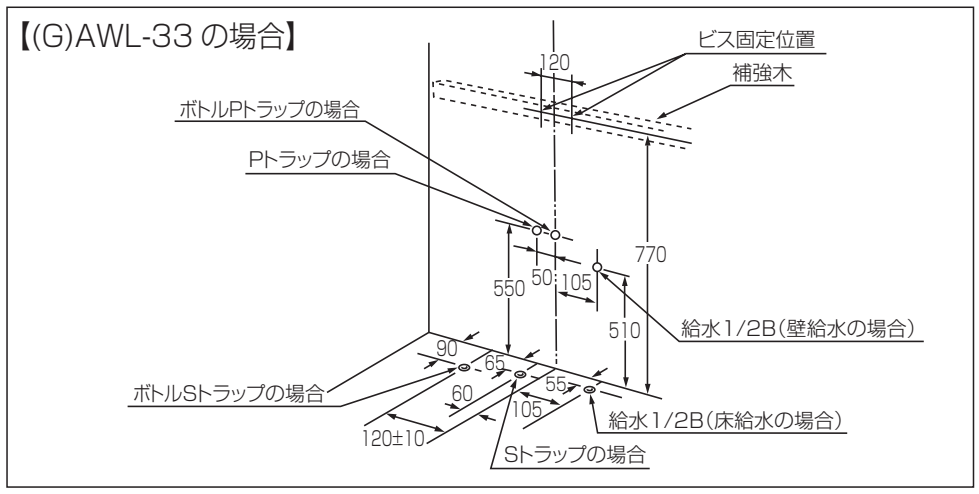
●施工前のご注意

●商品の表面には、直接工具を掛けないでください。
　工具を掛ける場合には、必ず商品に布等をあてて保護してください。
●施工の際には商品の表面にキズを付けないように十分注意してください。

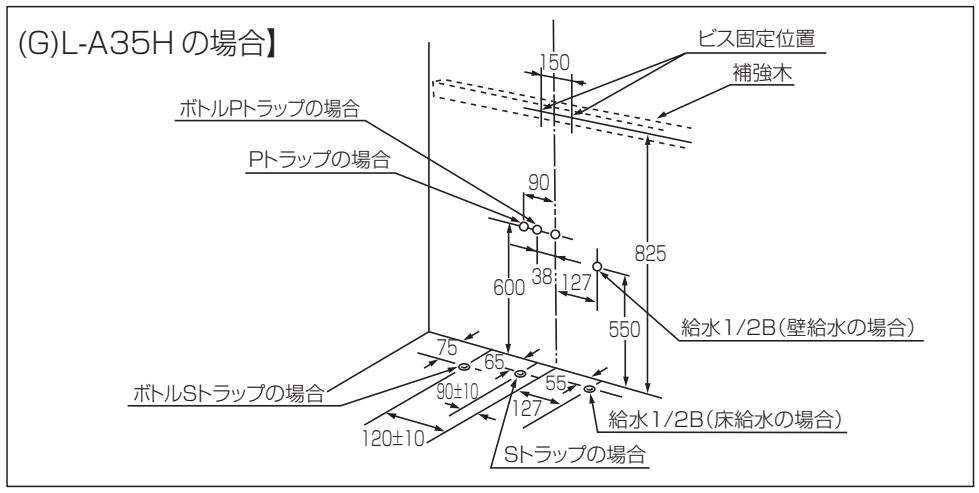
●施工方法

1. 下準備

【(G)AWL-33 の場合】



(G)L-A35H の場合】



〔給水管・排水管（25 鉛管・30 排水塩ビ管）は、仕上面と一致するように取り出します。〕

●強度確保のため、次のような補強をします。

〔木造壁の場合〕

取付部厚さ 50mm 以上になるように、補強木を設けてください。
※補強木は構造体との固定を行ってください。

〔コンクリート壁の場合〕

取付部の奥行は 75mm 以上（コンクリート厚 40mm 以上）を確保してください。
※ AY ボルト（AY-44）は別途用意ください。

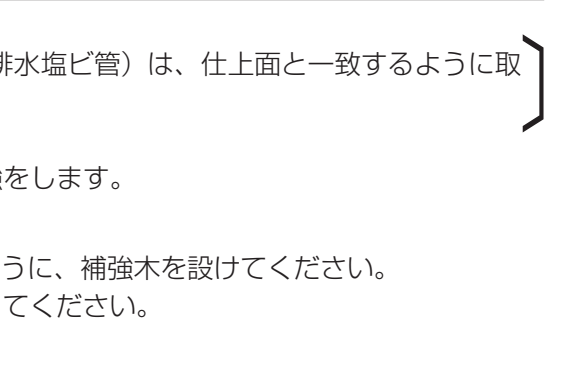
2. 配管内の清掃

手洗器を取付ける前に必ず配管内のごみ、砂等を完全に洗い流します。
※給水管の防露対策は必要に応じて現場で行ってください。

3. 手洗器の取付け

※施工後の補修を容易にするために、手洗器をモルタルで埋戻したり、接着剤で固定したりしないでください。
※木造壁の場合、KF-33 用の下穴（φ 4、深さ 60mm）を開けてください。
※コンクリート壁の場合、AY ボルト（AY-44）用下穴（φ 11、深さ 60mm）をあけてください。

①手洗器を仮据えし上部を押え、手洗器の水平を確認したのち、上部の取付穴の位置をけがき下穴をあけ、その後木ねじで固定します。
※ コンクリート壁の場合、AY ボルト（AY-44）用下穴（φ 11、深さ 60mm）をあけてください。



●安全上のご注意

●施工前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
●ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
●施工終了後、正常に作動することを確認するとともに、お客さまに使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
●この施工説明書はお客さまで保管頂くよう依頼してください。

用語の解説

注意 ・・・「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」

⚠ 注意

陶器は割れものです。
●施工前に輸送中の破損がないことを確かめてください。
●施工後に施工段階での破損がないことを確かめてください。
※破損部でケガをしたり、漏水により家財等を濡らす恐れがあります。

陶器に対するねじは締めすぎないようにしてください。
※陶器が割れてケガをする恐れがあります。

施工後に漏水検査を必ず行ってください。
※漏水により家財等を濡らす恐れがあります。

●使用条件

給水圧力は以下の条件を守ってください。

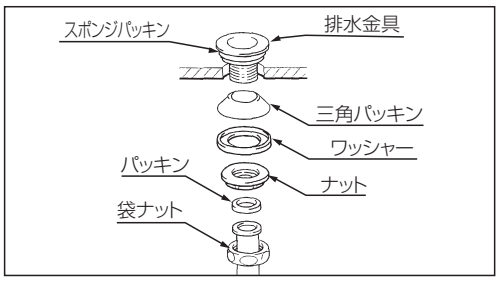
給水圧力
- 最低必要圧力 0.05MPa {0.5kg f/cm²}
- 最高圧力 0.75MPa {7.6kg f/cm²}

※給水圧力が 0.75MPa {7.6kg f/cm²} を越えるような高圧の場合は、市販の減圧弁等で適正圧力（圧力（0.2MPa（2.0kgf/cm²））に減圧してください。

商品・施工方法についてのお問い合わせは、INAXお客さま相談センターまで　ナビダイヤル　TEL 0570-017173　FAX 0570-017178
受付時間　平日 9:00～18:00　土・日・祝日 10:00～18:00（夏期・年末年始の休みは除く）
※ ナビダイヤルは、PHS・IP電話等ではご利用になれない場合がございます。右記番号をご利用ください。 TEL 0562-31-0793　FAX 0562-31-0797

4. 排水金具の取付け

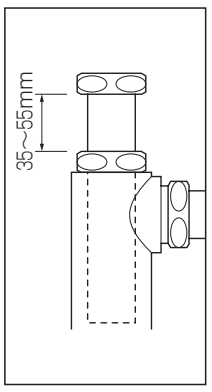
手洗器に排水金具本体を取り付けます。



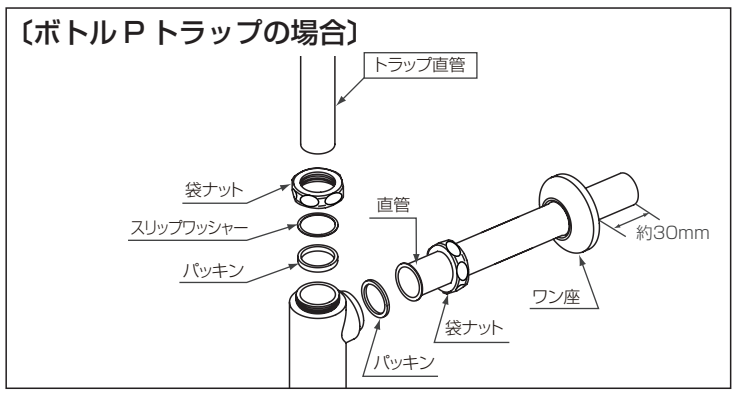
5. 排水管の接続

排水管の接続を行います。

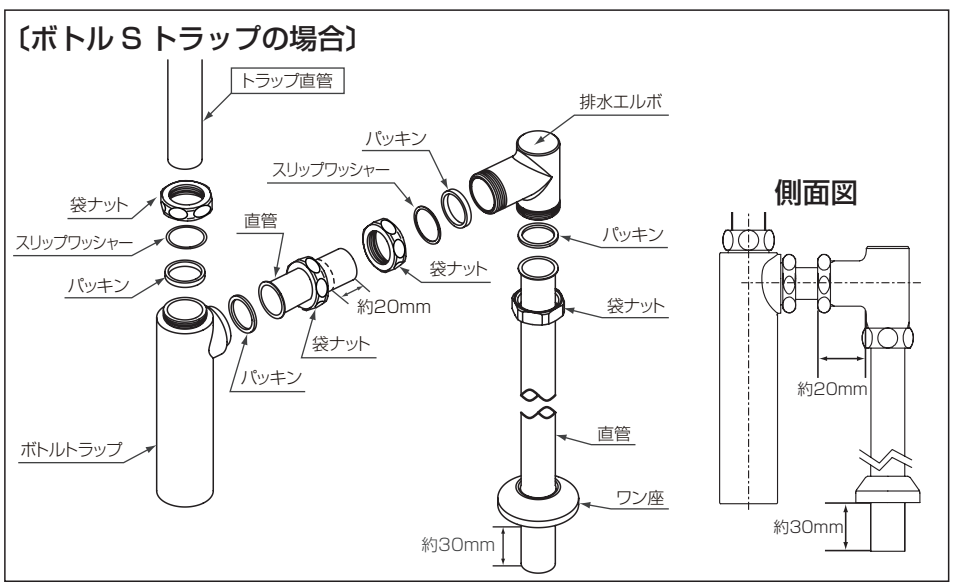
〔ボトルトラップの場合〕
※トラップ直管は、絶対に切らないでください。
※差込みしろ約 30mm を残して切断してください。
※下図の寸法が 35 ～ 55mm になっていることを必ず確認してください。
※排水エルボへの差込みしろは約20mm確保してください。(ボトルSトラップ)



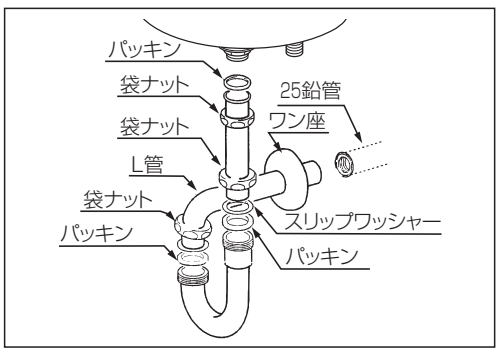
〔ボトルPトラップの場合〕



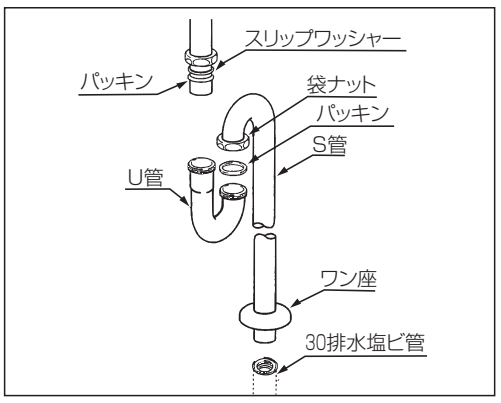
〔ボトルSトラップの場合〕



〔Pトラップの場合〕
※排水トラップを仮付けして、差込しろとして約 30mm 残してください。
※25 鉛管との接続はハンダ付けしてください。

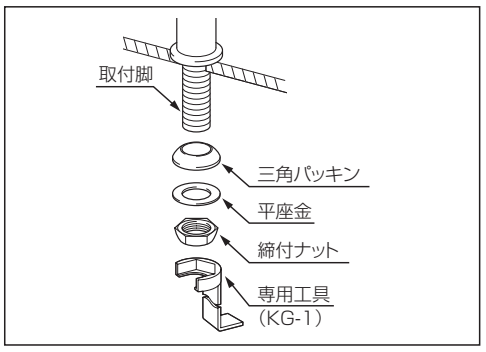


〔Sトラップの場合〕
※30 排水塩ビ管との接続はシール材で充てんしてください。



6. 水栓本体の取付け

①水栓を手洗器の取付穴に取り付けます。
締付ナット、平座金、三角パッキンを取り外し、取付脚を取付穴に挿入し、締付ナットで本体をしっかりと固定します。
※ 別売の専用工具（KG-1）を使用してください。

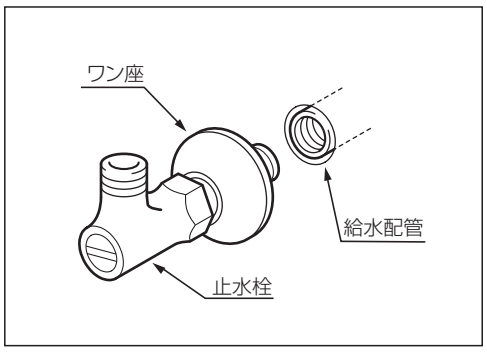


7. 止水栓の取付け

①壁面の給水配管に止水栓を取付けます。
※ ねじ部にシールテープ等のシール材を巻き付けてねじ込んでください。

⚠ 注意

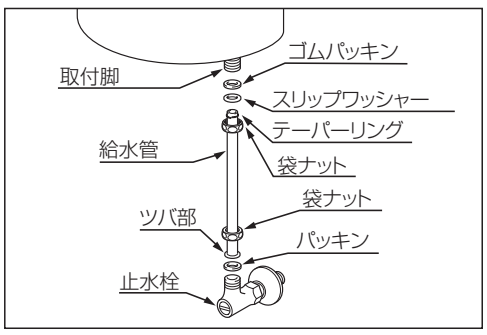
止水栓が上下に 5mm 以上動く場合は動かないように止水栓を固定してください。



8. 給水管の接続

※ 給水管のツバ部は絶対に切断しないでください。

※ 給水管の差込しろを約 15 ～ 20mm 残して切断してください。



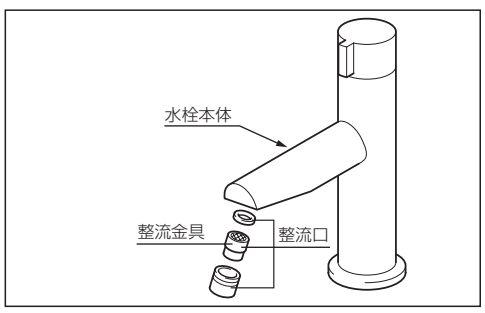
①給水管に止水栓側の袋ナットを通しておきます。
②図のように取付脚側の袋ナット、テーパーリング、スリップワッシャー（金属）、パッキンを給水管に通し、取付脚に差し込みます。
③給水管を取付脚に差し込んだ後、止水栓と給水管ツバ部の間にパッキンをはめ込み、止水側の袋ナットを締め付けてください。
④取付脚側の袋ナットを締め付けてください。

⚠ 注意

●止水栓・取付脚の袋ナットは締付トルク 10 ～ 15N・m{100 ～ 150kgf-cm} で締め付けてください。
※締め付けが不十分ですと漏水の原因となります。

9. 漏水の有無の確認および取付後の掃除

①通水し、接続部から水漏れのないことを確認します。
②手で整流口を取り外し、水を流し、配管内を洗った上で整流金具を掃除します。



●施工後の調節

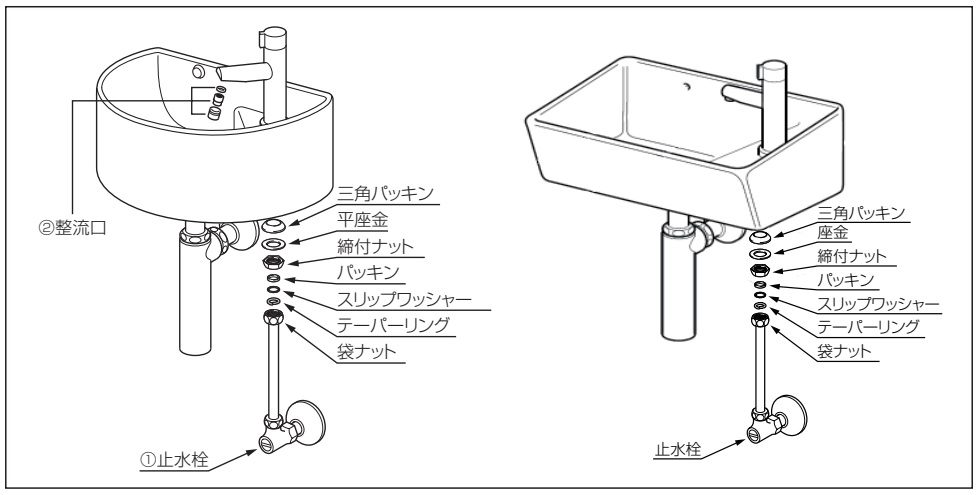
〔水栓金具の場合〕
使用時に水が飛散しない程度に止水栓で流量を調節してください。

●引渡前の確認

引渡前の調節および故障時の点検は次の要領で行ってください。
※点検箇所は下図を参照してください。

●故障と点検

現　象	点 検 内 容	点検箇所	処　置
流量が多すぎる	止水栓が全開ではないか？	①	止水栓で流量を絞る
流量が少なすぎる	止水栓は十分開いているか？	①	止水栓を十分開ける
	整流口にゴミ詰まりはないか？	②	ゴミ等を水で洗い流す
	圧力は十分か？	—	「使用条件」の項参照
	配管途中に大きな抵抗はないか？	—	抵抗となる障害物を取り除く
水が出ない	止水栓は十分開いているか？	①	止水栓を十分開ける
	ゴミかみはないか？	②	ゴミ等を水で洗い流す
吐水状態が乱れる	整流口にゴミ詰まりはないか？	②	ゴミ等を水で洗い流す



この説明書は、必ずお客様にお渡しください。